



## JR常磐線佐貫駅名改称にかかる駅名候補を要望しました

1 内容	<p>平成27年5月19日に、本市と東日本旅客鉄道株式会社水戸支社との間で締結したJR常磐線佐貫駅駅名改称事業にかかる「覚書」に基づき、本日（6/29（月））、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社に対し、次の3案を新たな駅名候補として、要望しました。</p> <p>（駅名候補）</p> <p>第1 龍ヶ崎市（りゅうがさきし）</p> <p>第2 JR龍ヶ崎（じえいあーるりゅうがさき）</p> <p>第3 龍ヶ崎佐貫（りゅうがさきさぬき）</p> <p>（今後の予定）</p> <p>駅名については、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社が本市の要望を踏まえて決定することになります。また、本年8月から9月を目途に、本市と東日本旅客鉄道株式会社水戸支社において、駅名や費用負担の額を盛り込んだ「協定書」を締結する予定です。</p>
2 資料	・ 駅名候補3案の理由については、別添のとおり。
3 担当課	龍ヶ崎市総合政策部 企画課 担当者：課長補佐 大貫（おおぬき）、廣田（ひろた） 内線361 連絡先：0297-60-1516（直通）

### 第1 龍ヶ崎市（りゅうがさきし）

本市は、常磐線を利用して都心部へ60分の通勤通学圏内にあり、都心に近接しながら豊かな自然環境と都市機能が充実した美しい街並みが調和し、地価も廉価なことから、子育て世代等の住まいの地に相応しいと考えています。しかし、本市の認知度は低く、住まいを選択する際の候補地と認識されることはかなり困難な状況にあり、計画人口7万人の龍ヶ崎ニュータウン等への人口定着、さらに、新旧住民の交流などが課題となっています。

この認知度が低い原因の一つとして、幹線鉄道の駅名に自治体名を冠していないことが挙げられます。現在の佐貫駅のままでは、本市の玄関口と連想されることは困難です。また、ニュータウンの最寄駅がどこかも理解されず、せっかくの立地特性や住環境が活かされません。最寄駅の名称と所在地が連想されないため、企業活動等にも少なからず支障が生じているなど、駅名改称問題は本市誕生後60年来の課題と認識しています。

本市は、シティプロモーション活動を活発化させて、子育て環境日本一や市民活動日本一を目指した特徴的な取組をはじめ、シビックプライドの醸成を意識した情報発信の強化に努めています。駅名を改称して自治体名と同じ「龍ヶ崎市」とすることにより、より一層の認知度向上や位置関係の明確化が図られて龍ヶ崎ニュータウン等への定住が促進され、さらに、新旧住民の統合の象徴となって市民の地域への愛着や誇りの醸成を促進して「オール龍ヶ崎市」というアイデンティティの確立にも寄与することが期待されるなど、地域経営の好循環を生み出す契機となるものです。

### 第2 JR龍ヶ崎（じえいあーるりゅうがさき）

第1と同様の理由です。ただし、本市に所在する関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅との混同回避を考慮したものです。

### 第3 龍ヶ崎佐貫（りゅうがさきさぬき）

第1の理由とおおむね同様です。隣接する関東鉄道竜ヶ崎線佐貫駅との関係性を考慮したものです。